

令和8年度 入学試験問題集(抜粋)

国語総合

一般選抜	1.2
解答	3

小論文

学校推薦型選抜公募推薦第一期・総合型選抜第二期	4
総合型選抜第三期	4
総合型選抜第六期	5

マンガ制作

学校推薦型選抜公募推薦第一期	6
----------------------	---

【問題】

問一 文章中の「――」1～5のうち、漢字はひらがなに、ひらがなは漢字に直して書きなさい。

- 1 ふれ
- 2 含齋
- 3 じょうけん
- 4 疲れ
- 5 調剤
- 6 ふせぐ

問二 文章中の「I」に入る言葉を、次のア～カから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 接続語
- イ 主語
- ウ 修飾語
- エ 目的語
- オ 述語
- カ 敬語

問三 文章中の「II」に入る言葉を、次の①～⑥から一つ選び、記号で答えなさい。

- ① ワン
- ② ツー
- ③ スリー
- ④ カイ
- ⑤ カー
- ⑥ トン

問四 文章中の「A」「C」に入る言葉の組み合わせとして正しいもの一つを選び、記号で答えなさい。

【 A 】	【 B 】	【 C 】
ア だから	あるいは	つまり
イ したがって	また	しかし
ウ しかも	そして	したがって
エ そして	ところが	しかも

問五 文章中には、①ヨーロッパの言語とあるが、筆者は別の言葉で何と言っているか。本文中より四字で見つけ、書き抜きなさい。

問六 文章には、②「人稱」とあるが、その具体例を、本文中よりそれぞれ二字、三字、四字でひとつずつ書き抜きなさい。

問七 文章中には、③「対人関係の微調整の感覚が発達している」とあるが、その根拠として適切ではないものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本語では、相手との心理的な距離によって、第一人称を使い分けているから。
- イ 日本語では、相手との関係に合わせて、第一人称を使い分けているから。
- ウ 日本語では、自分と相手との関係を対立させて、第一人称を使っているから。
- エ 日本語では、相手との関係にじっくりくるような人稱語を使っているから。
- オ 日本語では、日常的に相手に思いやりをもって多様な人稱語を使っているから。

問八 文章中には、④「蛇足」とあるが、その使い方としてふさわしいものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア よい話だが、彼女の最後の一言は蛇足だ。
- イ 今日は雨なので、傘は蛇足だ。
- ウ トカゲの足は蛇足だ。
- エ 船長は右へ蛇足した。

問九 文章には、時と場合によって、⑤「蛇足の部分をふやし」とあるが、どれほどな理由からか。二十字で本文中より見つけて書き抜きなさい。

問十 文章中には、⑥「冗語性のすくない言葉」とあるが、どんな言葉か。本文中より十七字で見つけて書き抜きなさい。

問十一 文章中には、⑦「法律の文章は悪文になる」とあるが、それはなぜか。その理由としてふさわしいものを次の、ア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 法律の文章は、最も概念的だから。
- イ 法律の文章は、冗語性が最も高いから。
- ウ 法律の文章は、省略が最も多いから。
- エ 法律の文章は、最も島国言葉だから。
- オ 法律の文章は、解釈の余地を最も残しているから。

問十二 文章中には、⑧「冗語性」とあるが、筆者の述べている日本語の特質について、次の①から③の条件を全て満たすようにしてまとめなさい。

- ① 「冗語性」「家族」「省略」という三つの言葉をすべて入れる。
- ② 尾括弧の二段落構成にする。
- ③ 百二十一字以上百四十文字以内でまとめる。

次の文章を読んで、あなたの意見を28行以上30行以内で述べなさい。

子どものスポーツ 「勝利至上」から脱却を

子どもたちの夏休みが始まった。酷暑への十分な対策とともに、スポーツや課外活動を楽しみ、深める季節でもある。その現場では「脱勝利至上主義」へと、大きくかじが切られ始めた。流れを滞らせることなく、加速させる必要がある。

小中学生を中心としたスポーツ少年団を統括する日本スポーツ協会(JSPC)は今年、この世代を対象にした大会のあり方を示す運営指針を新たに打ち出した。交流機会の充実、出場機会の確保、スポーツの品位や倫理の強化が、その3本柱だ。

交流については試合以外にも選手やチーム間で親睦を図る機会などを設け、出場機会については登録選手全員が出られるような独自ルールの策定を求める。品位・倫理の面では、フェアプレー賞の授与や子どもへの研修の実施などを定める。

それぞれの全国大会の名称は今後、「エンジョイ！」と「フェスティバル」の言葉を入れるという。

この取り組みは、8月上旬に開幕予定の軟式野球をはじめ、バレーや剣道など少年団の全国大会から本格化する。その後は、各競技団体が催す大会や自治体に関わる地域レベルまで広げる考えだ。

改革の目的は、勝利至上主義との決別だ。「ゆきすぎた勝利至上主義が散見される」との理由で、柔道が小学生の全国大会の中止に踏み切ったのは2022年だった。健康に影響するような過度の減量や、度を越えた言葉の指導が目についたせいだ。

心配なのは、勝利至上主義にはハラスメント行為との親和性が高いことだ。集団主義や上下関係の過度な尊重、指導者への依存、知識不足といった要素を媒介に結びつきやすい。大人の満足が、いつしか試合や大会のもの差しとなっている面も否めない。

昨年度1年間でJSPCの窓口が受け付けたハラスメントの相談は、過去最多の536件。指導における暴言が4割を占め、頭をたたいたり、球を投げつけたりする暴力行為を加えると5割を超える。

しかも被害者の半数が小学生だった。子ども本人が声をあげにくいことを考えれば、氷山の一角だろう。指導者の情熱を割り引いても、憂慮すべき事態というしかない。

子どものスポーツを守るには、指導者と保護者の意識改革がカギになることは間違いない。大会運営をめぐる改革によって、関わる人たちが知恵をしばり、協働作業を高める意義は大きい。

子どもの祭典を、着実に子どものものにしていきたい。

(朝日新聞 2025年7月27日社説)

解答用紙は
20字×30行の縦書き原稿用紙

総合型選抜第三期

次の文章を読んで、あなたの意見を28行以上30行以内で述べなさい。

女子大の伝統校、津田塾大学の創始者である津田梅子の墓所は東京都小平市の同大構内にある。1900年に前身の女子英学塾を創立して育成に心血を注いだ津田は学内に埋葬されることを生前、望んでいた。死去から3年後に東京・青山から改葬された。日本女子大学校(現在の日本女子大学、東京都文京区)が開学したのは翌01年。お茶の水女子大学(同区)の前身、東京女子師範学校が1875年に設立されるなど、日本の近代化とともに歩んだ歴史を持つ女子大を取り巻く状況が揺れている。共学化や統廃合に踏み切る学校が相次いでいる。関西では今年、京都ノートルダム女子大学(京都市)が来年度以降の学生募集の停止を決めた。学生数が多い武庫川女子大学(兵庫県西宮市)は2027年度から共学化し、「武庫川大学」に改称すると公表した。一方、京都女子大学(京都市)は今月、共学化せず女子大であり続ける「女子大学宣言」を発表した。女子大を巡る報道が続く、在学生や卒業生から不安の声が寄せられているという。少子化や、受験生の総合大学志向が女子大減少に拍車をかけているとみられる。武庫川女子大学・安東由則教授の研究室によると、ピーク時の1998年に98あった学校数は今年68にまで減った。閉学をさみしく思う卒業生も少なくなくなる。津田の掲げた「男性と協同して対等に力を発揮できる女性」を育成する建学精神は色あせない。存在感をどう維持するか、岐路に立ちつつある日本の女子大だ。

(毎日新聞 2025年7月5日余録)

解答用紙は
20字×30行の縦書き原稿用紙

次の文章を読んで、あなたの意見を28行以上30行以内で述べなさい。

政府の書店支援プラン 「知のオアシス」残したい

「街の本屋さん」をいかに守るか。読書振興から経営効率化まで広く目配りした施策を講じることが求められる。

政府が「書店活性化プラン」を公表した。読書人口の減少や古い業界慣行、デジタル化の遅れなど29の課題について、取り組むべき対策をまとめた。

注目されるのは、ITの活用による書店経営の効率化に踏み込んだことだ。

国内では年間約7万点の書籍や雑誌が刊行される。日々新たな商品が店頭に並ぶため、商品管理の省力化がポイントになる。

打ち出したのがICタグで在庫状況などを把握するシステムの導入支援だ。売れ筋の分析や棚卸し作業の効率化、万引きの防止に役立つとみられる。

非効率な業界慣行の見直しも進める。典型的な例が、売れ残った本の返品を可能にしている委託配本制度だ。書籍で33%、雑誌で44%の返品が生じている。流通や生産で無駄なコストがかかり、書店の負担にもなっている。

返品が減れば、出版業界全体のコストも下がる。ICタグの導入で需要の見通しを立てることも、その一助になるはずだ。政府は研究会を開き、業界として取り組むべき対策を検討するという。

決済のキャッシュレス化も促す。カード会社などに払う手数料が重荷になっている小規模書店に導入のための情報を提供する。

ただ、経営の効率化を進めるだけでは、本屋を訪れる人を増やすことにはつながらない。欲しい本はネットで手軽に買える時代である。本屋自体の魅力を高めることが欠かせない。

プランは、店舗の改装や新規開業に対する支援制度を積極的に活用するよう促す。店主独自の視点で品ぞろえをした独立系の書店は、広くファンを集めている。

本に親しむ人を増やしていくことも大切だ。幼児期から本に触れてもらうため、「絵本専門士」など人材育成の強化も図るといふ。

青少年を対象に、書籍購入費などを支援する諸外国の例も参考になるだろう。

書店は地域の「知のオアシス」だ。本を通して、生活に潤いと刺激をもたらす。プランを最大限活用し、生き残りを図ってほしい。

(毎日新聞 2025年7月6日 社説)

解答用紙は
20字×30行の縦書き原稿用紙

「喜びあう」という言葉から
シーンをイメージし、枠の中に作画しなさい。

- ・ 2人以上の人物を描き入れること。
- ・ 画面は縦、横どちらの向きで作画してもよい。
- ・ 複数のコマに分けずに、ひとコマで作画すること。
- ・ フキダシを使う場合は、その中に入れるセリフを含めて一つだけとする。
(使わなくてもかまわない。)